

5G通信

Vol.33



いま話題の次世代通信「5G」に関する
とっておきの情報をご紹介します

中国で世界最大の5G商用開始

中国で5Gサービスが正式開始され、その市場規模から世界に存在感を示しました

世界最大規模の5Gネットワーク網が誕生

- 11月1日、中国の国有通信大手3社(チャイナ・モバイルなど)は北京や上海など国内50都市で5G(第5世代移動通信システム)の商用サービスを開始しました。事前登録した契約者数は1,000万人を超えており、世界最大規模の5Gネットワーク網が誕生したといえます。
- 世界的にみると既に米国や韓国などで5Gサービスが開始されていますが、中国では今年末までに、5Gの通信基地局約13万カ所を整備する予定であり、日本ではNTTドコモやKDDIなど通信大手3社が、2022年度末までにそれぞれ約1万カ所の稼働を見込んでいることなどと比べると、その規模からいかに世界に与えたインパクトが大きいかがわかります。
- 中国の5Gサービスは月額128元(約2,000円*)から利用でき、5Gスマートフォン(以下、スマホ)も11月20日現在、10種類が販売されています。中国の5G端末市場は年末に向けて大きく盛り上がっていきそうです。

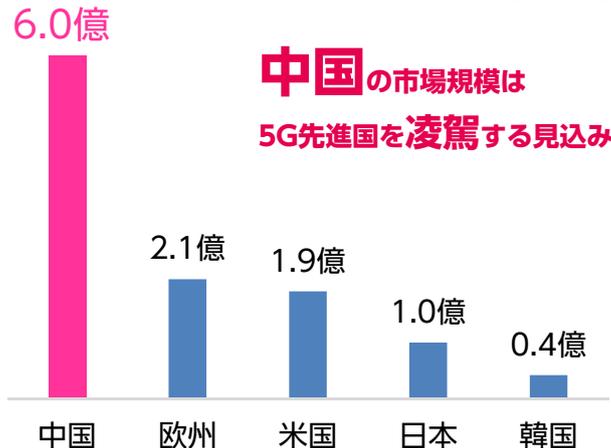
世界の5G市場を牽引する中国

- 中国が本格的な5Gサービスを開始し、その普及を急ぐ背景には、米中貿易摩擦問題の長期化で経済の減速が懸念される中、米国に先駆けて5Gを活用した新サービスを育成することで、経済を活性化し国際競争力を高める狙いがあるといわれています。
- 通信大手3社は25年までの7年間で合計1.5兆元(約23兆円*)を投資し、インフラ整備を急ピッチで進める予定であることに加え、5Gサービス関連企業においても半導体やAI(人工知能)などの要素技術を獲得するための投資を積極的に行い、内製化を進めています。
- 中国政府系研究機関によると、5Gは30年までに16.9兆元(約261兆円*)の経済効果と、約2,000万人の雇用創出効果をもたらすと試算されています。
- 巨大人口が生み出す「内需」と高い技術力を武器に「外需」を取り込みグローバルマーケットを席巻する勢いのある中国がこれからも次世代通信市場を牽引していくことが期待されます。



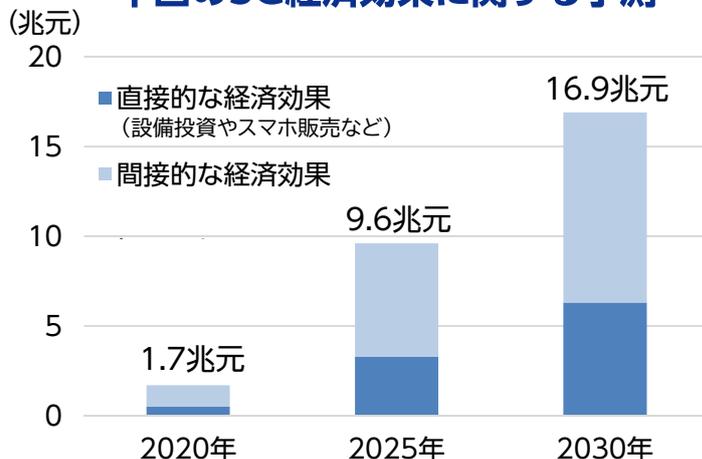
※画像はイメージです。

2025年の5Gネットワーク接続数の比較



(出所)GSMA(携帯通信事業者の業界団体)「Global Mobile Trends 2020」を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

中国の5G経済効果に関する予測



(出所)中国情報通信研究院「5G経済社会影響白書」を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

*2019年10月末の為替データを基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが円換算



【 ご留意事項 】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。